



## みんなの党 衆議院選挙区支部長 資料

支 部 名 : みんなの党千葉県第5区支部

氏 名 : 木村 長人 (きむら ながと)

生 年 月 日 : 昭和39年11月10日(47歳)

事務所連絡先: 〒272-0133

千葉県市川市行徳駅前1-26-15

電話:047-399-1000 / ファックス:047-398-1057

E-mail: rep@knagato.jp

HP: <http://www.knagato.jp>



学 歴 : 千葉県立検見川高等学校(昭和58年3月卒業)

中央大学法学部政治学科(昭和59年4月入学—昭和63年3月卒業)

早稲田大学第一文学部哲学科哲学専修(平成3年4月入学—平成8年3月卒業)

ジョージタウン大学外交政策学部留学(早大国際部第28期交換留学、平成5年9月—平成6年8月)

東京大学大学院学際情報学府修士課程(平成15年4月入学—平成17年3月修了)

東京大学大学院学際情報学府博士課程(平成17年4月進学—平成22年3月満期退学)

職 歴 : 安田火災海上保険(現損保ジャパン)株式会社(昭和63年4月—平成元年3月)

衆議院議員田中甲事務所秘書(平成8年10月—平成10年6月)

江戸川区議会議員(4期目、平成11年5月—現在)

メ ッ セ ー ジ : まず、地方議員を14年間務めてきた中で切実に感じるのは、貧弱な地方財源の問題など、現行の地方自治制度がいかに関域主権という時代の流れに対応できていないかという点です。こうした課題を解決するため、地域主権型道州制の導入を目指し、地域社会が主体的にまちづくりを進めていくことができる地方自治の構築が必要です。私にとって、国政の場で議席を得ることの第一の意味はここにあります。

第二に、時代にそぐわない議員特権の廃止や政治家への企業・団体献金の禁止が喫緊の課題です。鉄道各社無料パスの利用はあまりに時代錯誤。業界・団体から支援を受ける政治から、自立した個人としての有権者から支持を受ける政治を目指します。

最後に、人権活動家を抑圧するような国家におもねるよりも、人権や自由の価値を理解する国家との機軸を重視する外交の方向性を明確に打ち出します。



## みんなの党 衆議院選挙区支部長 資料

支 部 名 : みんなの党千葉県第1区支部

氏 名 : 西野 元樹 (にしの もとき)

生 年 月 日 : 昭和49年3月2日 (38歳)

事務所連絡先: 〒260-0032

千葉市中央区登戸 1-16-1 潮ビル 5F-A

電話:043-244-5577 / ファックス:043-244-5578

E-mail: [info@nishinomotoki.jp](mailto:info@nishinomotoki.jp)

HP: <http://nishinomotoki.jp>



学 歴 : 大阪府立岸和田高等学校 (平成4年3月卒業)

神戸市外国語大学外国語学部ロシア学科 (平成4年4月入学)

神戸市外国語大学外国語学部ロシア学科 (平成9年3月卒業)

職 歴 : 平成9年4月 蝶理株式会社入社

平成15年3月 蝶理アドバンストマテリアル株式会社へ出向

平成16年1月 アドバンストマテリアルジャパン株式会社へ転籍

(平成24年4月 アドバンストマテリアルジャパン株式会社退社)

メ ッ セ ー ジ : 97年から15年間、レアメタル商社マンとして世界を相手に資源確保のビジネスをして参りました。2010年9月の尖閣騒動の際、日本の資源戦略のなさを痛感し、国政の舞台で資源確保に取り組みたい！その思いから、みんなの党衆院選立候補者公募に応募いたしました。資源問題だけでなく日本が抱える多くの問題は先送り、無駄の削減は行わないまま増税は行うという民間感覚ではあり得ない政策を続ける民主党政権と自民党。業界団体、労働組合など支援団体にしがらみだらけの2大政党による“決められない政治”を打破し、輝く日本を取り戻し、子供たちに残すため、

- 脱しがらみ！で決めれる政治を！
- 脱メタボ！でスマートな政府を！
- 脱デフレ！で経済成長を！

目指して頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。